支部回覧

福山医療生協組合員活動ニュース

NO. 1　２０１９年　４月　１９日　発行責任者：宮澤千明

大腸がん健診４月からスタート！２０１９年度結果
各支部が新春の集い、支部旅行を開催！

医療生協では、死因の上位に位置する「大腸がん」の早期発見早期治療をめざし、毎年すすめています。福山市では、受診者を広げるために、医師会を通じてどの医療機関でも検診の声掛けに取り組み成果を上げています。しかし、まだまだ未受診の方、数年に１回しかしない方が多くいます。その方々への声掛けを強めましょう。

今年度は４月から取り組みを開始し、全支部が目標を達成しましょう。

2018 年度大腸がん健診目標達成支部
（城北、西、東、南、本庄、神辺、加茂）

第１７回加茂支部総会（４月１３日加茂公民館　２６名）を開催しました。熊谷支部長の進行で、福田常務理事のハーモニカの伴奏で加茂支部の歌を参加者全員で唄ってオープニング。福田常務の挨拶、顧問の辻県議からのメッセージの後、総会議事を行い２０１９年度方針、予算、役員を確認しました。第２部は、中刎在宅センター長（ケアマネ）に参加していただき、国の方針（施設から在宅へ）の中で医療生協としての役割（地域の中でつながりをつくる。施設の活用、相談活動）や介護現場の現状（孤立、食事の問題、移動手段の課題、認知症患者の増加、ガン末期の方の在宅療養）等について話していただいた後、参加者全員から、自分たちの在宅介護の経験や家族の状況（高齢化して施設入所、自宅で長期療養、両親とも認知症）等、語っていただきました。在宅で暮らすことが一般的になってきていることがわかりました。